

平成 2 0 年度三番瀬自然環境調査事業の概要

平成 2 0 年 7 月 2 5 日

環境生活部自然保護課

1 水環境モニタリング調査

(1) 目的

水温、塩分、流向・流速など生物と関連の深い三番瀬の海域の物理的環境を調査し、三番瀬全体での水の流動分布や流出入等を把握することを目的とする。

(2) 調査期間

平成 2 1 年 3 月 1 5 日まで

(3) 調査内容

水温、塩分、濁度、クロロフィル、溶存酸素、流向・流速について、図 1 の三番瀬海域の主要地点 3 箇所において、1 時間ごとの観測データを作成し、三番瀬の水環境を把握する。

(4) 解析・考察

年間の変動等について取りまとめる。

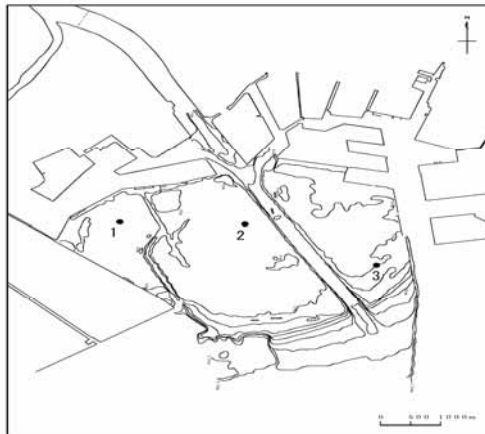
(5) 主な留意事項

海底にアンクルを組んで、計測機器を取り付けるなどにより、海底から 5 0 c m 程度の位置で計測するものとする。

調査には、藻類の付着等に対応した機器を使用することとし、機器のメンテナンスとあわせて、藻類の付着等が調査結果に影響を与えないように調査を行うこととする。

なお、機器のメンテナンスについては、1 週間に一回以上の頻度で、かつ、機器への藻類の付着等が調査結果に影響を与えないように行うものとする。

【図 1】



2 平成20年度三番瀬深浅測量

(1) 目的

三番瀬海域の地形の現状を把握し、過去に実施された深浅測量のデータから、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化について調査し、三番瀬の自然環境の変化を把握することを目的とする。

(2) 調査期間

平成21年1月～2月(前回調査と同時期)

(3) 業務の内容

作業計画

業務の目的・主旨を把握したうえで、既存資料の内容を確認し作業計画を作成する。

現地踏査

周辺の状況及び土地利用状況等を把握し、既存資料を基に現地踏査を行うものとする。

測量

精密音響探査機により、測線間隔50mで深浅測量を行う。また、浅い海域については、汀線測量により行う。なお、RTK-GPSを使用することにより、5cm程度以内の精度で行うものとする。

深浅図の作成、整理、確認等

測線間隔50mの深浅測量等を基に深浅図を作成する。また、過去に実施された深浅測量のデータとの比較により、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化を取りまとめる。

また、代表的な3測線については、2mピッチで詳細に地形を把握する。